

2017/7/20

治療方針番号	C	ME	2
疾患名	転移性肝腫瘍		
適応	少数転移性肝腫瘍(oligometastatic, 3個以下)		
病態	☒ 切除非適応 ☐ 化学療法不応 ☐ 再発性 ☒ 転移性 ☐ 他		
照射方法	1日1回週4回照射法 末梢型:総線量60.0Gy (RBE)/4回または58.0Gy (RBE)/1回 消化管近接型:総線量60-68Gy(RBE)/4-8fr または 60-68Gy(RBE)/12-16fr 安全性の観点から原発性肝癌の照射方法は利用可		
併用療法	各疾患に対する標準化学療法に従い併用を許容		
根拠となる論文, ガイドライン, 実績等	1. 寺嶋 千, 村上 昌, 岩田 宏, 宮脇 大, 小田 康, 出水 祐, et al. 転移性肝腫瘍に対する粒子線治療. Japanese Journal of Radiology. 2010;28(Suppl.I):50. 2. 荒屋 正, 寺嶋 千, 金 東, 橋本 直, 高木 克, 美馬 正, et al. 大腸癌肝転移に対する粒子線治療の検討. 日本癌治療学会誌. 2013;48(3):1177.		
備考			